

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	エントランス 伊丹教室		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 22日		～ 2024年 12月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	54	(回答者数) 37
○従業者評価実施期間	2024年 11月 22日		～ 2024年 12月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 10日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・様々な資格を持つ職員が在籍しています。(保育士、心理士、元教員、元成人福祉経験者など)	・お子様の発達段階や目標に合わせて、段階的に自立活動の練習を進めています。 ・自立した生活を送るための基本的なスキルや社会的スキルを身につけられるように、意識的に支援しています。	・利用者の選択肢を増やし、より多様な活動を提供 ・それぞれの資格を持つ職員が、それぞれの強みを活かしてチームを組むことで、より多角的な視点から利用者への支援を行う
2	・アンケートにて満足度が約90%以上だった(子供が安心して通所でき、楽しみにしている)	・お子さんの特性や成長についても情報共有を行い、支援に活かすよう意識しています。 ・電話、SMS、メール、アプリ、連絡帳、送迎時など、保護者との連絡手段を複数確保しています。	・子どもたちからのフィードバックを定期的に収集し、彼らの楽しさや安心感を高めるための改善を行う。
3	・学習室では静かで落ち着いた雰囲気を作り、ロールプレイ(ソーシャルスキルトレーニング)や活動室では自由な発想や交流を促す環境を整備している	・活動内容に応じて机や椅子の配置を変更し、パーティションで空間を区切る工夫を実施 ・フロアマットの色分けや掲示物で、スペースの目的を子どもにわかりやすい工夫をしています	・子どもの特性や支援計画に基づいて、学習やロールプレイに適した教材や設備をさらに充実させる。 ・利用者の声を反映し、必要な設備や環境の改善を進めるため、アンケートや面談によるフィードバック体制を強化します

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者同士の交流会やきょうだい向けのイベント、その他地域で他のこどもと活動する等の機会が提供できていない	・職員の異動等もあり、地域や他機関との連携が不足していること ・ニーズの把握が十分にできていないこと	・ニーズ調査を実施し、保護者や家族の声を反映させることで、より多くの機会を提供できるように努めます。 ・2月、3月にペアレントトレーニング(ペアレントプログラム)を実施予定
2	・面談や保護者の相談対応が必ずしも十分ではなかった点	・保護者と事業所の時間的な制約により、面談や相談対応の時間が限られており、十分な対応ができていない場合がある	・新しくできた制度を活用し、より円滑に面談や相談の時間帯をより柔軟に設定し、保護者と十分な時間を確保できるように努めます ・スタッフ間で情報共有を徹底し、対応方法の一貫性を保つことで、個々のスタッフに依存せず、どのスタッフでも対応できる環境を整えます
3	・職員間の連携に課題があり、情報共有の円滑化に改善の余地がある	・職員の勤務時間や送迎体制の関係から、特定の時間帯に全員が集まる会議形式での情報共有が困難な状況です ・情報伝達の責任者を設け、効率的な連絡体制を作っているが、実施できていない時がある	・シフトごとに情報伝達の責任者を設け、効率的な連絡体制を徹底する ・会議の内容については、お知らせとして引き続き掲示し、口頭でも伝達、回覧板も引き続き活用して情報共有を徹底します

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	エントランス 伊丹教室				公表日	2025年1月22日		
		利用児童数	2024 年 12 月 15 日		回収数	37		
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	30	0	1	7	・少し狭いような気がします。 ・学習の場を見たことがないので、わかりません。	・不要なものを処分し、空間を確保します
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	28	4	0	5		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	31	3	0	3		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	31	1	0	5		
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	30	5	1	1		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	31	2	2	2		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画や放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	33	2	1	1		
	8	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）には、児童発達支援（放課後等デイサービス）ガイドラインの「児童発達支援（放課後等デイサービス）の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	30	1	1	5		
	9	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）に沿った支援が行われていると思いますか。	34	0	1	2		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	29	4	0	4		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	11	4	7	15		
保護者 への 説明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	32	0	5	0		
	13	「児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	35	1	1	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	28	1	4	4		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	32	2	1	2	・状況は伝えてもらっているが、共通理解が出来ているかとなると解らない。	・保護者にわかりやすいよう、具体的なエピソードや実際の状況を説明していきます
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	32	3	2	0	・もう少し面談しやすい環境(申し出しやすい)があれば幸いです。	・保護者の皆さまが連絡しやすいよう、電話、メール、アプリ、連絡帳など複数の手段を用意しています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	30	2	0	5		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	10	6	7	14	・項目16と重なっているのでもちろんコメントしました。	
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	28	3	3	3		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	30	4	1	2		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	26	1	1	9		
非常 時等 の 対応	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	34	1	0	2		
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	33	0	1	3		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	27	1	2	7		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	29	1	0	7		
満足 度	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	30	2	0	5	・事故が発生していないようなので、わかりません。	・事故や怪我が発生した場合には、速やかに連絡し、状況を適切にお伝えします。今後も安全管理を徹底し、安心してご利用いただけるよう努めます。
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	34	2	1	0		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	33	2	2	0	・毎回楽しみに通っています。	・ありがとうございます。引き続き楽しく参加していただけるように工夫してまいります。
29	事業所の支援に満足していますか。	30	3	2	1	・子供の特性を見て、個別の指導を考えていただき、子供への声掛けも良くして下さいます。	・ありがとうございます。今後もお子さまの成長をサポートできるよう努めてまいります。	

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
エントランス 伊丹教室		2025年1月22日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	1	プレイルームでは、ボール遊びをしている人と他の遊びをしている人が同時にいる場合、間仕切りなどを活用して工夫しています。机の配置変更で距離が広く感じられるようになった。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	2	利用者の特性に応じた配置は概ねできていると思う。	基本的な職員の人数は問題ありませんが、児童によっては職員を増やす必要がある。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0		
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	1	状況によって、学習室や事務所応接室を活用している。	クールダウン用の部屋の設置が必要。
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	2		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	2		そうでない場合もある。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	1	公認心理師や他講師、外部研修による研修が定期的に行われている。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0		
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)を作成しているか。	7	0		引き続き、複数の目から見たアセスメントの共有は必要。
	13 児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0		
	14 児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	2	分からない点、気になることは自分から聞きに行くように工夫している	共有されているといえないかも。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	2		
	16 児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)には、児童発達支援(放課後等デイサービス)ガイドラインの「児童発達支援(放課後等デイサービス)の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」、及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	1		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1		
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	SSTは週ごとに異なり、イベントもバラエティに富んでいる。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)を作成し、支援が行われているか。	6	1		
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	1		時間の関係で行いにくいことがある。
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	3	会議形式ではないが、必要な振り返りは行っている。土・日は送迎がないので時間の確保がある程度できている。	送迎の関係で全員が参加しての振り返りは難しい。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	日報が非常に徹底されている。	
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0		
	24 【放デイのみ】放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7	0		
	25 【放デイのみ】こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0		今後も更に自己決定の力を伸ばせるよう考えることは必要。
関係機関や保護者との連携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0		
	27 地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0		
	28 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	1		
	29 保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	6		会社のグループ内のみで地域とはできていない
	30 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	日々、連絡帳や電話によるやりとりが行われている。送迎時に保護者に伝えるように工夫している。	
	31 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2	一般的な就労・進路に関してはMGにて情報提供。福祉的就労・進路については管理者・開発員にて実施	2.ご家族が参加できる研修を増やす必要がある。
	32 【児童事業所・児童センターのみ】併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。				
	33 【児童事業所・児童センターのみ】就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。				
	34 【児童センターのみ】地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	35 【児童センターのみ】質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	36 【児童センターのみ】(自立支援)協議会・こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	37 【放デイのみ】学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	7	0		
	38 【放デイのみ】就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	2	事業所(フューチャー内)間は連携あり。	保育所、幼稚園とはない(保護者の了解が得られない場合がある)
	39 【放デイのみ】学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	2		
	40 【放デイのみ】(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	5	2		
保護者への説明等	41 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0		
	42 児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0		十分でない場合もある。
	43 「児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	1		
	44 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	1		
	45 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	3		十分でない。
	46 こどもや保護者からの相談や苦情、申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や苦情、申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0		
	47 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	1		
	48 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0		
	49 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0		
	50 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	3		事業所の行事に地域住民を招待したことがない。地域のイベントに以前参加していたが、今年度は他イベントと重なり参加できなかった
非常時の対応	51 【放デイのみ】家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	1		
	52 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0		
	53 業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	1		
	54 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	服薬、てんかんについてはOK。	予防接種の確認は改善が必要
	55 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0		医師の指示書の提出はなく、保護者からの申請で対応
	56 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0		
	57 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	0		
	58 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0		
	59 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0		
	60 どのような場合にもやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	0		